

## 1. 化学製品および会社情報

**薬品名** : 2X Hi-RPM Hybridization Buffer, 25 ml. Agilent Part Number 5190-0403  
**製品番号** : 5190-0403  
**製造業者 / 供給者** : 会社名 Agilent Technologies, Inc.  
 住所 2850 Centerville Road Wilmington  
 Delaware 19808, USA  
**緊急電話番号** : 緊急連絡先 アジレント・テクノロジー株式会社  
 住所 東京都八王子市高倉町9-1 (〒192-8510)  
 担当部門 カスタムコンタクトセンター  
 電話番号 0120-477-111  
 FAX 番号 0120-565-154

## 2. 組成/構成成分情報

物質/製剤 : 製剤

構成成分	CAS 番号	%	化学式	METI	労働省	PRTR
ethylenediamine tetraacetic acid	60-00-4	0 - 100	C10-H16-N2-O8	(2)-1263	データなし。	データなし。

物質/製剤の使用量 : 25 ml.

## 3. 危険有害性の要約

### 健康への慢性効果の可能性

**発ガン性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
**変異原性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
**生殖毒性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
**危険有害性分類** : その他の有害性物質。

## 4. 応急措置

**吸入した場合** : もし吸入したら、新鮮な空気のある場所に移動させる。呼吸が困難な場合、酸素を供給する。呼吸が停止している場合、人工呼吸を行う。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。  
**飲み込んだ場合** : 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。  
**皮膚への接触** : 接触した場合、直ちに皮膚を水で十分に洗い流す。汚染された衣服および靴を脱がせる。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。  
**眼に入った場合** : 接触した場合、直ちに多量の水で15分以上洗眼する。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

### 消化媒体

**適切** : 火災に応じた消化剤を使用する。

**暴露による特定の危険有害性 - 爆発性** : 特別な危険有害性なし。

### 消防士用の特殊保護具

消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具 (SCBA) を装着しなければならない。

## 6. 漏出事故時の措置

- 個人保護** : 眼、皮膚および衣類への接触を避ける。
- 環境予防措置** : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。
- 洗浄方法** : 緊急要員がいない場合、漏出物を囲い込む。少量のこぼれは、吸湿材（適切な吸湿材がないときは、土を使用してもよい）を加えて吸い取らせた後、すくい取って漏れない密閉容器に入れて廃棄する。大量漏出の場合、漏出物の周囲に流出止め用の囲いを作るか、もしくは流去水が水路に流れ込まないようにする。漏出物は適切な廃棄容器に収容して廃棄する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い** : 摂取してはならない。取扱い後は、十分に洗浄する。
- 保管** : 容器を密閉して保管する。容器は換気の良い冷所に保管する。

## 8. 暴露防止および保護措置

- 設備対策** : 特別な換気設備は必要ない。全体換気装置は空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。もしこの製品が暴露限界を有する成分を含有する場合は、工程の密閉、工程ごとの排気設備、あるいはその他の工程管理対策を用いて作業者の空気中の汚染物質への暴露を、推奨あるいは規制された限界以下に保つこと。

### 個人保護

- 眼** : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミストあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。
- 手** : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 呼吸関連** : リスク評価によって必要とされる場合は、承認された基準に合格した、身体に良くあった空気清浄機能付、または外気供給式の呼吸装置を使用する。使用する呼吸保護具の選択は、既知もしくは予測される暴露量、薬品の危険有害性、呼吸保護具が安全に使用可能な限界値に基づかねばならない。
- 皮膚** : 作業者の身体保護のための装置は、行われる作業の内容および関連するリスクにもとづいて選択されており、さらにこの製品を取り扱う前に専門家により承認を受けている必要がある。
- 衛生措置** : 化学製品を取り扱ったあとは、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所に近いところに洗眼スタンドと安全シャワーを必ず設置する。

## 9. 物理的および化学的性質

- 物理的状态** : 液体。
- 沸点** : 既知の最低値 : 100°C (212°F) (Water).
- 融点** : 凝固温度 : 0°C (32°F) 基準データ : Water.
- 引火点** : 既知の最低値 : 密閉式 : >109.85°C (229.7°F). (polyethylene glycol octaphenol ether)
- 比重** : 既知の数値 : 0.86 (水=1) (ethylenediamine tetraacetic acid).

## 10. 安定性および反応性

- 安定性** : 本品は安定である。
- 危険有害性分解物質** : これらの製品は、ハロゲン化合物、塩化水素。

## 11. 毒性情報

### 毒性データ

製品 / 成分の名称	テスト	結果	経路	種類
ethylenediamine tetraacetic acid	LD50	30 mg/kg	経口	マウス

### 局所的な影響

眼に入った場合	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚への接触	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
吸入した場合	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
飲み込んだ場合	: 飲み込むと有害性。
発ガン性	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
変異原性	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖毒性	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

### 慢性毒性

飲み込んだ場合	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
吸入した場合	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
皮膚	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 12. 環境影響情報

### 環境毒性データ

製品 / 成分の名称	種類	期間	結果
ethylenediamine tetraacetic acid	Daphnia magna (EC50)	48 時間	113 mg/l
	Lepomis macrochirus (LC50)	96 時間	41 mg/l
	Pimephales promelas (LC50)	96 時間	59.8 mg/l
	Lepomis macrochirus (LC50)	96 時間	159 mg/l
	Lepomis macrochirus (LC50)	96 時間	532 mg/l

## 13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。
------	--

## 14. 輸送上の注意

規定なし。

[追加情報](#)

## 15. 適用法令

### 日本の取締法

毒物及び劇物取締法	: 毒物：データなし。 毒性：データなし。 特定毒物：データなし。
-----------	---

### 化審法（監視、特定化学物質）

成分名	分類
ethylenediamine tetraacetic acid	タイプ 2 モニタリング

## 16. その他の情報

印刷日 : 3/28/2007.

発行日 : 3/28/2007.

バージョン : 0.01

### 読者への注意事項

危険有害性の評価は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学製品には、未知の危険有害性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。